

教 育 研 究 業 績 書		
2010年 3月31日		
氏 名 大久保 澄子 印		
研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
言語学・社会学	英語教育・学習者中心教授法・児童養護施設・教育支援・英語学習指導	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例		
会話による英文法教育	2005年4月以前～ 現在	<p>児童養護施設S園における5年間の学習指導の結果、独自の教育方法として「会話による英文法教育」を考案した。現在、子供の学校での成績は向上し、英語を得意科目とする子供が増えている。</p> <p>方法：①学習者中心の教育方法(TESOL)の教育理念を重視し、絵・会話カードを多用した会話練習によって英文法を習得させる。</p> <p>②中学3年までの教育内容として「数」「時制」、特に時制の違いを重点的に習得させる。</p> <p>③文字を教えず絵カードによるゲームを多用し、口頭練習によって学習事項を定着させる。</p>
語彙制限の読本による語彙指導	2005年4月～現在	<p>語彙を増やすことがコミュニケーションのために重要であるため、児童養護施設の高校生に語彙制限物語の多読による語彙指導を試みた。実用英語検定準2級の合格や、NPO KIDSのInternational Project 2007の海外研修に選ばれるなど効果を上げている。</p> <p>① やさしい読み物 (Penguin readers: Easystarts, Beginner) の多読によって、リーディングへの自信をつけさせる。</p> <p>② 簡単な句動詞を多く学習させる。</p> <p>③ やさしい英文の精読によって文構造の理解を深めさせる。</p> <p>④ 英文法と語彙の習得を中心とした施設の英語教育システムの構築を試みている。</p>
大学生の社会参加を促すための活動	2007年2月～現在	<p>大学教育では、学問の修得だけでなく、変化する社会を的確に認識し、問題意識を持ち自らが考えて行動する能力の育成が重要な教育課題の一つである。学生に、児童養護施設の子どもに英語を教えるボランティア活動の場を提供し、社会参加を促した。学生は、子どもとのふれあいを通して、現実の深刻な社会問題を認識し、福祉や社会活動に対する理解を深めている。</p> <p>方法：①学習者中心の教育方法を試みさせながら、日曜日にボランティアとして学習指導をさせる。②教育活動の一貫である「お茶の時間」に子どもと交流させる。</p>

事項	年月日	概要
<p>学際的協力による児童養護施設への教育支援</p> <p>語彙制限の読本による速読への試み</p>	<p>2007年4月～ 2008年3月</p> <p>2008年4月～現在</p>	<p>子どもの健全な育成には、多分野の専門的支援が必要であり、相互の連携が児童養護施設の教育力を高めることができる。2007年度の個人課題研究では、筑波大学人間総合科学研究科田中佐代子講師との協働で、学習指導用の教材開発を行った。芸術専攻学生の専門技術によって教育方法に適した絵カードの作製を行った。</p> <p>方法：①学生にボランティア活動の主旨を理解させる。②絵が意図する教育内容を説明し、電子メールによって絵の構図について検討を重ねた。③中学校教科書の分析による動詞の選定、身近な物・人物、構図の面白さなどに配慮した。</p> <p>2008年度の個人課題研究では、2005年度から行った語彙制限読本の多読による語彙指導の結果をふまえて、児童養護施設の高校生に英文速読と Scanning の指導を試みた。</p> <p>方法：①従来からの訳読式をやめさせ、直読直解ができるように指導する。②速読を意識させるために、読みやすくタイプした 2000 字程度の易しい英文を 5 分で読ませる。③正しく scanning が出来たかどうかを知るために、10 問程度の日本語による quiz を行う。④物語について話し合うことによって内容を自然に理解させる。</p>
<p>2 作成した教科書，教材</p> <p>会話で学ぶ英文法のためのテキスト</p> <p>会話で学ぶ英文法用テキストの使用方法</p>	<p>2006年</p> <p>2007年</p>	<p>児童養護施設 S 園における学習指導用テキストで、2004 年から独自の教育方法「会話による英文法教育」で実践した教育内容をまとめて作成した。このテキストは、英語を初めて学ぶ小学高学年から中学 1 年の子供及び養育環境によって学習ができなかった生徒を対象にし、中学 3 年までの内容で作られている。</p> <p>児童養護施設 S 園で主流を占めている個別指導によるドリル練習は、適切な教育項目を系統だって教育することが出来ず効果をあげていない。英語学習指導で成果の認められた教育方法を持続可能な教育システムとして構築するためには、指導員に教育方法の研修を実施し、教育システムが施設内で効果的に実践される必要がある。テキスト「会話で学ぶ英文法」にそって、その教育方法が説明されている。</p> <p>目的：英語を専門としない施設の指導員が、英語導入期の生徒に無理なく英語学習指導をするための教育用資料として作成した。</p>

事項	年月日	概要
<p>会話で学ぶ英文法の教材「絵カード」</p> <p>速読練習用教材</p>	<p>2007年</p> <p>2008年</p>	<p>筑波大学人間総合科学研究科田中佐代子講師との協働で、芸術専攻学生によって「会話で学ぶ英文法教育」で多用する絵カードを75枚作製した。</p> <p>目的：①子どもの身近な「もの・人物」を題材として親しませる。②動作動詞のカードを多く作製し、英語構造の理解に重要な「時制の違い」を理解させる。③市販の教材より面白く、絵画性の高いもので関心を向けさせる。</p> <p>児童養護施設S園における英語学習指導は、「すう・時制・語彙」を重視し、その系統だった教育によって園における英語教育システムの構築を試みている。効率的な語彙習得のために、教材を作成した。</p> <p>方法：①高校生用に Penguin Young Readers level 2,3,4 から適当な読本を選び、1回2000字程度のもの（長い物語は2回にわけ）をタイプし、25回分の練習用紙を作成した。②Reading に集中させるため全体を1分400字程度の割合で時間制限をして行う③読本の内容に関して日本語の質問を10問程度作成し、理解度をみる。</p>
<p>3 教育上の能力に関する大学等の評価</p>	<p>2005年度～2009年度</p>	<p>学生の英語能力向上のために、授業の中でさまざまな教育方法を試みており、授業評価のアンケートでも学生は「英語の実力がついた」「会話をするのが嫌でなくなった」などと教育方法を概ね評価している。</p>
<p>4 実務の経験を有する者についての特記事項</p> <p>特になし</p>		
<p>5 その他</p> <p>児童養護施設学習指導用教室の設置</p> <p>第57回茨城県社会福祉大会 茨城県社会福祉協議会会長表彰</p>	<p>2007年10月</p> <p>2008年1月29日</p>	<p>2005年日本橋学館大学紀要第4号「児童養護施設における教育支援としての英語学習指導」で報告したように、教育環境による問題点があった。子供に学習をあまり意識させない環境で、効果的な教育方法を実践するための教室を2室（23㎡、8㎡）設置した。</p> <p>1999年から行った児童養護施設における英語学習指導に対して、ボランティアとして表彰を受ける</p>

職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項				
事項		年月日		概 要
1 資格, 免許				
教員免許		1971年3月		中学校1級普通免許状(英語): 昭46中1普第1010号 高等学校2級普通免許状(英語): 昭46高2普第959号
小学校英語指導者認定協議会資格		2009年12月		小学校英語指導者(1000003006719)
2 特許等				
特になし				
3 実務の経験を有する者についての特記事項				
特になし				
4 その他				
特になし				
研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
特になし				